

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

測定年度	令和5年度	学校コード	F127310108081	設置等組織名	ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科、システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科
大学名	関西大学	設置区分	私立	事業計画名	関西大学 学部の新設、既存学部における学科の新設
学校種	大学	都道府県	大阪府		

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合にも取組記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
フェーズ1	①令和5（2023）年8月 新学部・新学科の学生確保の見直しについての調査 ②令和5（2023）年8月～ 新学部・新学科設置事務業務 ③令和5（2023）年10月～ 新学部・新学科についての広報活動1年目	①令和5（2023）年10月～11月 新学部の学生確保の見直しについての調査 ②令和5（2023）年8月～ 新学部・新学科設置事務業務 ③令和5（2023）年10月 新学部特設ホームページ開設 ④令和5（2023）年10月 新キャンパス開設記念シンポジウム実施 ⑤令和5（2023）年10月～ 新学部・新学科設置事務業務（派遣職員1名採用） ⑥令和6（2024）年2月 新学部広報レポート制作 ⑦令和6（2024）年2月 新学部学部長予定者インタビューコンテンツ制作 ⑧令和6（2024）年7月～ 新学科についての広報活動1年目 ⑨令和6（2024）年10月～ 新学科の学生確保の見直しについての調査	R5年度自己評価 【2】計画を十分に実施していない。 令和6年1月11日付け開大長2023-23による事業遅延届のとおり、学科の開設を令和7（2025）年度から令和8（2026）年度に遅らせることから、全体の計画を1年後送りして実施する。 ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科は、当初「学部の新設」を予定していたが、文部科学省への事前相談の結果「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更し、令和7（2025）年度開設予定である。
		【取組内容】 -令和6（2024）年 ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科について、「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更し、文部科学省へ事前相談を行った結果、令和6（2024）年4月に届出にて手続きを行うこととなった。 -令和6（2024）年 システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科について、開設年度を令和7（2025）年度から令和8（2026）年度に変更（「事業遅延届」令和6年3月29日承認） -システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科については、入学定員を60名から62名に変更して検討中 -令和6（2024）年 システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科について、文部科学省へ事前相談を行い、令和7（2025）年4月に届出を行った。 -システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科については、入学定員を60名から62名に変更して届出を行った。	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2 前編	①令和5（2023）年10月～ 新学部ネットワーク整備工事1年目		R5年度自己評価 【1】計画を実施していない。 物件引き渡し後、詳細な調査を実施したところ、当面の利用においては、ほぼ既存機器の再利用が可能であることが判明したため、有効活用することとした。 学部の特性に合わせたネットワークや機器の更新・整備について検討を進めており、2024年度中に整備を完了する。
認可申請又は届出	令和6（2024）年3月 学部の新設に関する認可申請、学科の新設に関する収容定員変更に関する認可申請、令 又届出 令和6（2024）年4月 学科の新設に関する届出	令和6（2024）年3月 学部の新設に関する収容定員変更に関する認可申請、令和6（2024）年4月 学部の 設置に関する届出 令和7（2025）年3月 学科の新設に関する収容定員変更に関する認可申請、令和7（2025）年4月 学科の 設置に関する届出	ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科は、当初「学部の新設」を予定していたが、文部科学省への事前相談の結果「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更し、令和7（2025）年度開設予定である。 令和6年1月11日付け開大長2023-23による事業遅延届のとおり、学科の開設を令和7（2025）年度から令和8（2026）年度に遅らせることから、全体の計画を1年後送りして実施する。
フェーズ1 後編	①令和6（2024）年4月～ 新学部・新学科についての広報活動2年目	①令和6（2024）年5月～ 新学部についての広報活動2年目	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2	①令和6（2024）年4月～ 新学部校舎の改修・整備 ②令和6（2024）年4月～ 新学部ネットワーク整備工事2年目 ③令和6（2024）年4月～ 新学科設備の整備	①令和6（2024）年10月～ 新学部校舎の改修・整備1年目（R7.2.26承認） ②令和6（2024）年8月～ 新学部ネットワーク整備工事 ③令和7（2025）年4月～ 新学科設備の整備（R6.9.3承認）	R6年度自己評価 【3】計画を十分に実施している。
	開設又は定員増	令和7（2025）年4月 学部の開設	令和7（2025）年4月 学部の開設（ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科の開設 入学定員350名、経済学部経済工学専修） 令和8（2026）年4月 学科の開設予定（システム工学部グリーンエレクトロニクス工学科 入学定員62名、工学関係）
フェーズ2 後編		①令和8（2026）年4月～ 新学部校舎の改修・整備 2年目（R7.2.26承認）	R7年度自己評価 リストから選択してください。
フェーズ3	①令和7（2025）年4月～ 新学部の図書施設の設置 ②令和7（2025）年4月～ 新学部運営事務業務 ③令和7（2025）年4月～ 新学部・新学科の機密保守 ④令和7（2025）年4月～ 新学部・新学科についての広報活動	①令和8（2026）年4月～ 新学部の図書施設の設置（R6.9.3承認） ②令和8（2026）年4月～ 新学部運営事務（R6.9.3承認） ③令和8（2026）年4月～ 新学部・新学科の機密保守（R6.9.3承認） ④令和8（2026）年4月～ 新学部・新学科についての広報活動（R6.9.3承認）	R7年度自己評価 リストから選択してください。
			R8年度自己評価 リストから選択してください。
			R9年度自己評価 リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	10名減員に係る届出予定	令和7（2025）年3月 システム工学部電気電子情報工学科 12名減員承認済（入学定員170名、工学関係） 令和8（2025）年4月 システム工学部電気電子情報工学科 12名減員予定（入学定員170名、工学関係）	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	関西大学
		学部学科名	ビジネス・デザイン学部ビジネスデザイン学科

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3. 申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の道定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	関西大学
		学部学科名	ビジネス・デザイン学部ビジネスデザイン学系

⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることなど、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十九条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
⑭	文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、進級年度に合わせ、基礎演習科目群、実体験科目群、PBL型演習群等を計画している。そのうち基礎演習科目群は、企業と連携した導入授業として、アイデアソンやハッカソン等、知識やスキルの習得だけでなく、人との協働作業の重要性を理解させる。そして関連領域の最前線で活躍する実務家等の西芳を直接、触れることができる授業や機会を提供する。そのほか、実体験科目群では、企業留学や海外留学、英語で学ぶグローバル科目など、多様な体験が得られる授業群を設置する。企業留学では、協力企業と連携し、ビジネスインターシップ等のプログラムを用意し、企業の実務体験を得る機会を提供する。	新学部では開設初年度である令和7年度のアクティブラーニング科目の開始に備え、令和5年度から企業連携の調整を開始し、授業内容等の方向性を確定することができている。実データを提供する企業との調整もさることながら、分析ツール（BIツール等）や学修プラットフォームとなるクラウドサービスを提供する企業とも調整を行い、持続的かつ発展的な協力関係を構築することを目的として、連携協定を締結する方向で協議している。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、一定の数学能力が必要とされることを認識しているところであり、既存の文理総合学部における入試制度の現状と入学者の状況を考えて、今後検討していく計画である。現時点では、数学を必須とする方式と必須としない方式の両方を設けることを想定しているが、数学を必須としない方式による入学については、新学部が想定する人材育成のための教育が十分な効果が見えないことが懸念されるため、入学後にデータサイエンス教育を受けるに必要な数理的思考、数学教育を低位年次から身につけることができようなかプログラムを構築する。また、商業高校に対して公募推薦入試を計画し、簿記計算等の一定数値的理解の素養を持った受験生の獲得を計画している。	数学を必須としない入試方式にて入学する学部生を想定し、外部機関と連携した数学入門の専用コンテンツを導入する。数学入門は能力別クラス編成とし、対面授業とオンライン授業を組み合わせることで、より柔軟かつ効果的に教育を行う。これにより一人の学生も取り残さず全学部生がデータサイエンス教育を受けるに必要な数理的思考を身に付けるための基盤は十分に確立されるものと考えている。 また、商業高校に対する公募制入試の導入計画については、取組定員に係る学部変更（取組定員増）の認可申請中であることから現時点では学生募集活動を行うことが不可能であるため具体的に高等学校に対しての需要調査を行うことができていない状況である。しかしながら、大学進学実績等の状況を分析し、認可後、即座に学生募集活動を兼ねた高等学校への訪問が行えるようリストアップが完了している状況であり、問題な計画が進行している。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	関西大学
		学部学科名	ビジネス・デザイン学部

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3. 申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
	確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	事業計画の道定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	関西大学
		学部学科名	ビジネス・データサイエンス学部ビジネス・データサイエンス学科

⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることとし、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十九条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣諮問）六（二）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、進級年度に合わせ、基礎演習科目群、実体験科目群、PBL型演習群等を計画している。そのうち基礎演習科目群は、企業と連携した導入授業として、アイデアソンやハッカソン等、知識やスキルの習得だけでなく、人との協働作業の重要性を理解させる。そして関連領域の最前線で活躍する実務家等の西芳を直接、触れることができる授業や機会を提供する。そのほか、実体験科目群では、企業留学や海外留学、英語で学ぶグローバル科目など、多様な体験が得られる授業群を設置する。企業留学では、協力企業と連携し、ビジネスインタラップ等のプログラムを用意し、企業の実務体験を得る機会を提供する。	学部の開設年度を迎え、計画通りにアクティブラーニング科目が開始されている。秋学期からは、企業の実データを活用したアクティブラーニング科目の開設を控えており、企業との連携協定を促した各種調整も順調に進んでいる。今後は令和8年度以降に開講される科目における企業等との連携に向けた関係構築と教育課程の編成を含めた学部の調整を行っていく。	企業等との連携において、どちらか一方に負担が偏った場合、長期的な関係を構築することは困難であるため、持続可能な連携のあり方を模索する必要性を感じている。 学部教育の安定運用に向けて双方にとってwin-winかつ教育効果の高いプログラムの実現に向けて継続的に企業等との打合せを重ねていく。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学部では、一定の数学能力が必要とされることを認識しているところであり、既存の文理総合学部における入試制度の現状と入学者の状況を考えて、今後検討していく計画である。現時点では、数学を必須とする方式と必須としない方式の両方を設けることを想定しているが、数学を必須としない方式による入学生については、新学部が想定する人材育成のための教育が十分な効果が見込めないことが懸念されるため、入学後にデータサイエンス教育を受けるに必要な数理的思考、数学教育を低位年次から身につけることができようなかじゅうを構築する。また、商業高校に対して公募推薦入試を計画し、簿記計算等の一定数の理解の素養を持った受験生の獲得を計画している。	開設初年度の1期生の入学者選抜では、一般入試において数学を必須とする方式と必須としない方式の両方を設けるなど、多様性を重視した選抜を行った。結果として入学生においては文理のバランスを取ることができ、十分な数学能力を持つ入学生を確保することができた。一方、データサイエンス分野の学修の際に求められる数理的思考を身につける必要のある学生が一定数入学したため、計画に基づき、基礎的な数学力を身につけられるよう「数学入門」を1年次配当の必修科目として設定した。 また、商業高校に対する公募推薦入試計画については、随時ヒアリングを実施しており、導入に向けて学部内で検討を進めているところである。	各学生がどの程度の数学的素養を身に付けているかを測定することが必要であると考えており、『数学入門』におけるテストにて測っているところである。 また、入学者選抜に関しては、引き続き文理/バランスの維持に向けて、より新学力のある学部説明を実施するだけでなく、情報科教育やデータサイエンス教育力を入れている高等学校への個別訪問等も実施していきたい。商業高校に対する公募推薦入試については、より当学部のアドミッションポリシーに沿った制度となるよう検討を進めていく。

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	関西大学
		学部学科名	システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3. 申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
	確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	事業計画の道定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	関西大学
		学部学科名	システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科

⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うとし、また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十九条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑭	文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学科では、半導体関連企業における実習（インターンシップ）ならびに関連企業からの寄附講座も正課科目として設置することを目標としているため、フェーズ1期間中において具体的な企業との交渉を進める。すでにシステム理工学部において実施しているPBLやインターンシップの協力企業である半導体製造装置企業（SCREEN）や自動車製造企業（ダイワ工業）などをはじめ、60名の学生全員が企業実習を行うために10数社の半導体関連並びに自動車関連企業との連携を目指す。	現在、新学科のカリキュラムの詳細を検討しており、企業実習や寄附講座についても検討を行っている。まずは関西圏に拠点のある企業を中心に連携を進めるための準備を行っている。また、客員教授などの制度も利用し、半導体関連企業からの出張講義については2024年度から試行的に実施することを予定している。	半導体関連企業が多く関西圏以外で事業拠点を置いているケースが多いため、学生派遣をどのように行うことができるかをより詳細に検討を行う必要がある。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学科では、構想する人材育成に向けて学修目標を達成するためには、高等学校において数学、物理学、化学、英語の素養を身につけることが必須のため、理工系入試を実施する。また、多様な入学者の確保に向けて、既存の総合型選抜入試（指定校推薦、公募制推薦など）に加えて、本学科に特化したエレクトロニクスの観点からの環境問題に関わるAO入試（グリーンエレクトロニクス型選抜）についても検討を行う。	新学科の入試は基本的にシステム理工学部既存学科（特に電気電子情報工学科）と同様の入試を実施することを計画している。すなわち、一般入試に加え、総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試を実施する方向で計画を進めている。また、システム理工学部で新たに導入する総合型選抜（女子特別入試）についても新学科でも導入することで多様性の確保を目指す予定である。AO入試（グリーンエレクトロニクス型選抜）についてはどのような実績を問うかについて検討を行う予定である。	受験生に新学科の特徴や学問分野をどのようにわかりやすく伝えるのか、入試広報について十分な検討が必要と考えている。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	関西大学
		学部学科名	システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
	確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	事業計画の道定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	関西大学
		学部学科名	システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科

②	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

③	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることに加え、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十九条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

④	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学科では、半導体関連企業における実習（インターンシップ）ならびに関連企業からの寄付講座も正課科目として設置することを目指しているため、フェーズ1期間中において具体的な企業との交渉を進める。すでにシステム理工学部において実施しているPBLやインターンシップの協力企業である半導体製造装置企業（SCREEN）や自動車製造企業（ダイワ工業）をはじめ、60名の学生全員が企業実習を行うために10数社の半導体関連並びに自動車関連企業との連携を目指す。	新学科のカリキュラムについて詳細に検討を行い、半導体人材育成に必要な学問の体系化を完了した。カリキュラムにおいては、グリーンエレクトロニクス概論をはじめ、産学連携PBLや企業実習など産業界との連携を重視した科目を設置することになっている。グリーンエレクトロニクス概論などのルーラー構築においては、関西圏に拠点のある企業4社から講師を招聘することが確定している。また、3年次以降に設置される産学連携PBLや企業実習などに協力いただける企業へのアプローチも開始している。さらに、客員教授の制度も利用し、半導体関連企業からの出張講義について2024年度からすでに試行的に実施している。	6-2名の学生全員を企業実習に派遣するためには、さらに多くの半導体関連企業からの協力を得る必要がある。関西圏に事業拠点を置く企業に加えて、関西圏以外に事業拠点を置く企業へのアプローチが今後必要である。また、その際に学生派遣を資金面も含めてどのように実施するかをより詳細に検討を行う必要がある。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新学科では、構想する人材育成に向けて学修目標を達成するためには、高等学校において数学、物理学、化学、英語の必修を身につけていることが必須のため、理工系入試を実施する。また、多様な入学者の確保に向けて、既存の総合型選抜入試（指定校推薦、公募制推薦など）に加えて、本学科に特化したエレクトロニクスの観点からの環境問題に関わるAO入試（グリーンエレクトロニクス型選抜）についても検討を行う。	新学科の入試は基本的にシステム理工学部既存学科（特に電気電子情報工学科）と同様の入試を実施することを計画している。すなわち、一般入試に加え、総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試を実施する方向で計画を進めている。また、システム理工学部で新たに導入する総合型選抜（女子特別入試）についても新学科でも導入することで多様性の確保を目指す予定である。AO入試（グリーンエレクトロニクス型選抜）についてはどのような実績を問うかについて検討を行う予定である。	受験生に新学科の特徴や学問分野をどのようにわかりやすく伝えるのか、入試広報について十分な検討が必要と考えている。

大学名	関西大学
-----	------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	6,522	6,522	6872																	
		入学者数	人	6,586	6,822	7248																	
	その他の学期	入学定員	人	10	10	10																	
		入学者数	人	4	5																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	6,532	6,532	6,882																	
		入学者数(B)	人	6,590	6,827	7,248																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.01	1.05	1.05																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	26,178	26,178	26528																	
		編入学定員	人	90	90	90																	
		在籍者数(D)	人	27,722	27,918	28603																	
		編入学者数	人	59	48	44																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.06	1.07	1.08																	

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		1,622,672	1,843,633	2,380,770	2,069,160	1,791,882	1,839,562	1,988,863												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	1,901,558
本事業による助成金の額(F)	千円	1,001,340
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	1,926,592

特記事項

--